

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

在宅療養指導室のご紹介

病院での入院加療が終わって、自宅で療養を継続しなければならない患者さんや、要支援・要介助が必要な患者さんへ適切で十分な指導を実施することにより、患者さんの在宅療養における不安の軽減を図るために在宅療養指導室を開設することになりました。

当面の指導予定は、小児科外来受診の現在在宅療養指導をお受けになっている患者さんを対象に取り組んでまいります。在宅成分経管栄養法指導や在宅気管切開患者指導などを主体とし、患者さんご本人と、日々成長されるお子様のケアを担っておられるお母さんを中心とした、保護者の皆様の支援ができるようにと考えております。

在宅療養に必要な物品は、この在宅療養指導室からお渡しすることになりますが、変化していく医療に合わせて物品の変更などについてもご指導させていただきます。

今後内容を充実させ、他科を受診の患者さんや成人の方への指導についても、検討していきたいと考えております。

在宅療養指導室は、外来診療棟1階に位置するように計画中です。(10月より)

在宅療養に関することでお困りのことや、ご質問などがありましたら、どうぞご遠慮なくお声をおかけください。担当の看護師が対応いたします。

(地域医療連携室 お問い合わせ TEL:092-642-5165)



カントと星空

みなさんは、カントという哲学者をご存じですか？
名をインマニュエルといいます。インマニュエルというのは、「神があなたと一緒にいる」という意味です。
ちなみにモーツァルトはアマデウス・ウルフガング・モーツァルトといいます。アマデウスとは「神に愛される者」という意味です。

カントが残した言葉を一つ紹介します。

「私の心をふるわせるものがこの世に二つある。

天にあっては星の輝き、

地にあっては我がこころの道徳律」

カントの輝きは名前の通り信仰心の厚い人でした。
彼は満天の星を眺め、そこに人の力の及ばない神の営みと恵みを感じたのです。さらに「人は、動物にない崇高な心を神から与えられている。そのなかでも道徳

かんば しげのぶ
精神科神経科教授 神庭 重信



MESSAGE from Shigenobu Kanba

の心がもっとも崇高な神の贈り物である」と言っているのです。

私たちは、きっとだれもが弱くて情けない心の持ち主です。カントのようにはいきません。そのうえ人生は、つらいこと、悲しいこと、不条理なことの連続です。喜びは束の間にしかなってきません。生きるのがつらい、と思える時もあるでしょう。でもあなたの命の輝きは、必ず誰かの目に入っています。そしてその人の心の中を照らしている。

秋になると夜空に星がきれいに見えるようになりますね。星の輝きをしばらく眺めるならば、やがて心が安らくなるでしょう。そして、私たちが今をどのように生きればよいのか、少しだけ、答えを見つけられるかも知れません。

九州大学の呼吸器科は、昭和27年に結核研究施設として誕生しました。誕生当時は生の松原に分院を構え、その名のとおり結核を中心とした診療、研究が行われていました。その後の抗結核薬による治療の進歩とともに結核の死亡数は年々減少していきましたが、その反面その他の呼吸器疾患が増加していきました。そこで結核研究施設は胸部疾患研究施設と名称を新たにし、昭和48年には生の松原の分院から現在の医学部キャンパス内へと移転し、大学病院の一診療科（呼吸器科）としての役割を担うようになりました。現在は、腫瘍（肺癌）、肺生理疾患（気管支喘息、COPD）、びまん性肺疾患（間質性肺炎、急性肺障害）、感染症（肺炎、肺結核など）を中心として呼吸器疾患全般の診療を行っています。診療姿勢として高水準の医療を患者さんに提供することを第一に考えております。また新しい医療、治療法の開発という面にも力を入れており、各種の臨床試験、治験を行っています。例えば腫瘍の分野では日本臨床腫瘍研究グループや、西日本胸部腫瘍臨床研究機構といった全国レベルの組織に所属しており、全国の医療機関、研究機関と連携して診療を行っています。



呼吸器科長
中西 洋一 教授

肺癌や間質性肺炎など呼吸器の領域には難治の疾患も多いですが、その治療は着実に進歩しています。是非当科にご相談下さい。外来診療は新患外来が月、水、金となっております。詳細につきましては当科のホームページ（<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/kokyu>）をご覧ください。（呼吸器科 TEL：092-642-5388）

禁・煙 してみませんか.....

喫煙が健康へ与える悪影響は疑うべくもなく、肺気腫、心臓病、脳卒中等の危険因子とされ、口腔、舌、咽喉、喉頭、鼻腔・副鼻腔、肺、食道、脾臓、膀胱、腎臓がん等との関連も考えられています。また、喫煙は喫煙者本人だけでなく、その煙を吸わされる周囲の人々の健康をも害します。喫煙により流産、早産、低出生体重児等などの発生率が上昇することも報告されて、さらにはシミやシワなど肌の老化の原因となりうることから、美容上も悪影響を及ぼし、女性にとって喫煙は大きな問題となります。禁煙はこれらのリスクを減少させると考えられ、世界中で禁煙に対する意識が高まっており、公共の場での全面禁煙など社会的な取り組みもなされています。



タバコの煙には200種類以上もの有害物質が含まれるといわれますが、なかでもニコチンには強い依存性があることが知られています。喫煙者ではタバコの煙から吸収された体内のニコチンが枯渇すると、イライラ、頭痛、だるさ、眠気などを自覚します。このようなニコチン依存からの離脱症状が禁煙に際して大きな障害となります。ニコチン置換療法はこれら離脱症状を軽減し、ニコチン依存を段階的に改善しながら禁煙に導く補助療法です。当院でも去る8月13日より禁煙外来を開設し、ニコチンパッチを使ったニコチン置換療法を開始しました。費用は全額自己負担となり、標準的な禁煙プログラムは8週間で4万円くらいかかります。高いと感じられるかもしれませんが、禁煙することでさまざまな病気のリスクが減ることやタバコ代が要らなくなること（1日1箱のタバコを吸う場合の1年のタバコ代は約10万円）、肌の老化防止にもなることなどを考えると案外お安いのではないのでしょうか。タバコをやめようかなと思っている方、以前に禁煙を試みたけれど断念した方、是非一度お試しください。（総合診療部 禁煙外来 山路 浩三郎 ご予約・お問い合わせ TEL：092-642-5910）

ヘアカットボランティア感想文による

今回のボランティア活動は、ヘアカット要員7名、補助者3名で患者さん男女あわせて、約30名についてシャンプー、カットが行われました。患者さんに対するヘアカットのボランティアは今回2回目で、思わぬボランティアの来訪が患者さんにとっては大きな喜びとなりました。

ボランティアの1人に話を伺うと、「心臓にバイパスを通して移動するのも大変であり、喋ることも出来ない状態で、カットの際ご本人の希望でヘアスタイルも携帯電話に保存しており、入院前のスタイルにしたいとのことで、カット終了後には入院前と同じカットに仕上がりに笑顔で喜んでおられた。長期入院となると外との交流が取りにくく、人と触れ合えるのも楽しみの一つなのではないかと感じられた。ボランティア活動を通じて患者さんから「ありがとう」とお礼を言われる。人のためにお役に立てたと思う本当に嬉しい瞬間です。」とのことであった。

このボランティアは、年2回を行うことにしており、本院としてもこれからも続けて行きたいと考えております。ホームページ及び院内の掲示板に案内していますように、他にもボランティア活動がありますので、ご希望の方は下記まで連絡をお願いします。

連絡先：患者サービス課 患者掛 TEL：092-642-5981 柳池・石川



ソーシャルワーカー について



ソーシャルワーカー
若田 英樹

今年8月に九州大学病院の地域医療連携室のソーシャルワーカーとして配属された若田英樹です。よろしくお願いたします。

ソーシャルワーカーは、専門的にいうと「人間の福利（WELL-BEING）の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワーメントと解放を促していく。ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響しあう接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である」(国際ソーシャルワーカー連盟によるソーシャルワークの定義)

非常に分かりづらい文章ですが、病院で働くソーシャルワーカーは、入院や通院に伴う諸問題を様々な社会保障制度を利用し解消や軽減を図ります。また面接により現在ご本人やご家族が抱える問題を整理し、問題解決の道筋を一緒に考えていきます。

多くの患者さんやご家族の皆さんが、様々な悩みや不安を抱えていらっしゃると思います。そんな時ソーシャルワーカーへお声を掛けてください。

お話を聴きすることで解決できる問題もあります。しかしお話を聞くだけでは解決につながらないこともたくさんあります。そのような状況でも少しでも患者さんのお役に立てればと思っています。

(地域医療連携室 お問い合わせ TEL:092-642-5165、092-642-5166)

歯科 医療 センター

口腔 ケア ・ 予防科

当科は九州大学歯学部附属病院予防歯科として昭和45年に開設され、昨年10月の病院統合より、九州大学病院口腔ケア・予防科として現在にいたっています。当科では、う蝕（虫歯）や歯周病などの歯の病気の予防や治療の後に再発しないようにするために、口腔管理を行っています。う蝕や歯周病は、お口の中に棲み着いた細菌が原因であり、これらの細菌を上手にコントロールすることで、う蝕や歯周病を容易に防ぐことができます。多くの歯の病気は患者さんが気づかない間に進行してしまいます。ごく初期の歯の病気であれば、歯を削ったり、歯茎を切ったりすることなく、適切な予防処置を行うだけで進行を止めることができます。一生自分の歯で食べ物を食べることは、多くの方にとってそれほど難しいことではありません。歳を取ったら歯が抜けるのが当然だと思い込んでいるのでしたら、そのような考えを改めて、当科で一日も早く自分に適した口腔管理方法を学んでください。

また、お口の中を不潔にすることは、歯の病気だけではなく、全身の健康にも影響を及ぼすことが知られています。最近では、肺炎、心疾患、糖尿病などにお口の細菌が関与していることが報告されており、歯の病気以外で九州大学病院に通われている患者さんも、是非一度、当科でお口の健康状態を調べてみられることをお勧めします。その他にも、当科では口臭や口腔乾燥が気になる方の相談や治療も行っています。詳しくは当科のホームページ (<http://myamagu.dent.kyushu-u.ac.jp/>) をご覧下さい。



口腔ケア・予防科
山下 喜久 教授

(口腔ケア・予防科 TEL:092-642-6421)

九州大学病院別府先進医療センターは九州大学の三病院の統合に伴い、昨年10月に九州大学病院の別府地区の医療センターとして再出発一年が経ちました。現在、難治性疾患であるリウマチ膠原病、血液疾患、がん、生活習慣病を中心として、質の高い医療を提供できるように日々努力をしています。私どもの診療科(循環・呼吸・老年病内科)では心臓病・高血圧・慢性呼吸器病・神経疾患について診療を行っています。最近では人口の高齢化と食生活の欧米化などにより動脈硬化による心臓病が増えています。当診療科では心臓病にならないよう血圧、脂質(血液中のコレステロールなど)の管理・指導を行っています。また、一旦、動脈硬化により心臓の血管(冠動脈といいますが)が狭くなった患者さんには、冠動脈造影検査、経皮冠動脈形成術(風船治療)を行っています。現在、高齢者の増加に伴い、手が震えたり、歩行が困難になったり、物忘れがひどくなる患者さんも増えています。このような患者さんにも、きちんと専門医が対応しております。さらに、当センターでは、別府ならではの温泉療法も取り入れ、心臓や呼吸器、神経などの機能が弱った患者さんには、慢性呼吸器病に効果の高い温泉による機能回復をめざしたりリハビリテーションも行っています。温泉は、基礎代謝を高め、糖尿病をはじめとする一連の生活習慣病に効果のあることも示されるなど、これまであまり考えていなかった病気にも効果があることが分かってきています。このように温泉は、新しい効果が科学的に立証されつつある、今後ますます注目を浴びる、古くて新しい治療法です。温泉をうまく利用する快適な治療の応用範囲は、今後一層広がってゆくでしょう。当診療科は患者の利益を最優先とした生活の質と生命予後の改善を目的として、最良の医療を提供すべく日々研鑽しています。

このように九州大学病院別府先進医療センターは新しい医療体制のもとで、大きく再生しようとしています。皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。(循環・呼吸・老年病内科 TEL:0977-27-1681)



循環・呼吸・老年病内科 牧野 直樹 教授

お知らせ

- ・今年もクリスマスロビーコンサートを12月中旬に予定しております。
 - ・携帯電話から九大病院の診療案内・診察日案内・交通案内のホームページ閲覧を開始いたしました。
- アドレスは<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/hosp/>です。



外来診療日一覧

ご用件がありましたら、下記の診療科等に直接お電話願います。(市外局番は「092」です)

階	科名(電話番号)	初診日	再診日	階	科名(電話番号)	初診日	再診日	診療施設等	電話番号
1	総合診療部 (642-5300)	月~金	月~金	1	第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	救急即受付	642-5873
1	内科(初診) (642-5300)	月~金	月~金	1	整形外科 (642-5504)	月・水・金	金	時間外受付	642-5163
2	内科(再来) (642-5302)			2	脳神経外科 (642-5533)	月・水・(金)	月・水・(金)	総合外来受付	642-5138
1	臨床遺伝医療部 (642-5421)	月~金	月~金	2	心臓外科 (642-5565)	月・(水)(木)	水・木	入院受付	642-5149
1	先端分子細胞治療科 (642-5996)	月~金	月~金	2	小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	公費申請受付	642-5185
2	心療内科 (642-5335)	月・木	(火)(水)(金)	2	皮膚科 (642-5596)	月・水・金	(火)(木)	地域医療連携室	642-5165
2	神経内科 (642-5349)	(火)(木)(金)	(月)(水)	2	泌尿器科 (642-5615)	月~金	月・水・金	支払い窓口	642-5169
2	循環器内科 (642-5371)	月~木	月・水	1	精神科神経科 (642-5640)	(火)・(木)	(月)(水)(金)	リハビリ受付	642-5862
2	呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1	眼科 (642-5660)	月・水・金	(月)~(金)	医療相談	642-5914
2	産科婦人科 (642-5409)	火・木	月~金	2	耳鼻咽喉科 (642-5681)	(火)・(木)	(月)(水)(金)		
2	産産母子センター (642-5900)	火・木	月~金	1	放射線科 (642-5705)	月・水・金	月~金		
2	小児科 (642-5430)	月~金	月~金	2	麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金		
1	先端医工学診療科 (642-5993)	月~金	月~金	別館	歯科医療センター (642-6268)	月~金	月~金		
1	第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金						

※○印の曜日は予約が必要です。

- 休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29~1/3)
- 受付時間(窓口)
8:30~11:00
自動再来受付機
8:15~11:00
- 外来玄関開閉時間
7:00~18:00

- 注
- 予約がある場合はこの限りではありません。
 - 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

(代表) 092-641-1151

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号



病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!
※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

ご意見・ご感想を電子メール(ibs_koho@jimu.kyushu-u.ac.jp)
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております!

